

第 81 回 豊橋ケーブルネットワーク放送番組審議会 議事録

開催日時	2024 年 11 月 19 日 (火)	開催場所	豊橋ケーブルネットワーク 3 階大会議室
委員総数 8 名			
・ 浅倉伸治委員長 (豊橋商工会議所) ・ 石川達也 (豊橋市役所) ・ 中根貴弘 (豊橋青年会議所) ・ 細田修 (豊橋市自治連合会) ・ 土井政典委員 (田原市役所) ・ 原田幸洋 (田原市商工会) ・ 鈴木真理子 (新城市役所) ・ 新井のり子 (豊橋市小中学校 PTA 連絡協議会事務局)			
事務局 豊橋ケーブルネットワーク株式会社			
・ 山本鉄秀 (代表取締役社長) ・ 橋場雅一 (地域メディア部 部長) ・ 河合貴将 (地域メディア部 営業チーム リーダー) ・ 浅井大弥 (地域メディア部 制作チーム リーダー) ・ 花井亜樹 (地域メディア部 制作チーム)			
審議番組	防災特番「ペットと防災～大切な家族を守るために～」		
議題 1 報告事項			
(1) 放送実績報告 (2024 年 5 月から 2024 年 10 月) 行政番組及びレギュラー番組に関して放送実績を報告 (2) 前回議事録の確認			
議題 2 審議事項			
(1) 放送番組審議			
<input type="checkbox"/> 対象番組：防災特番「ペットと防災～大切な家族を守るために～」			
<input type="checkbox"/> 放送期間：2024 年 9 月 2 日 (月) ～9 月 7 日 (金) 午前 7 時～、正午～、午後 3 時～、午後 6 時～、午後 7 時 45 分～、午後 10 時～			
<input type="checkbox"/> コンセプト：年始に発生した能登半島地震などを契機に、近年注目を集めている「ペット防災」。 もしもの時に、大切な家族であるペットを守るためにどんな備えが必要か、事前の準備に活用できるチェックリストや、実際にペットを連れて避難した場合の避難所での過ごし方を紹介。			
<input type="checkbox"/> 番組概要：主に、ペットのための非常用持ち出し品をチェックリスト形式で紹介と、日常生活や避難時に必要なクレート訓練 (ペットが移動用ケースの中でおとなしく過ごすことができるようにする訓練) について紹介しました。 そのほか、ペット防災に詳しい専門家に、必要な心構えなどをお聞きしました。			

放送番組審議内容

- 委員 > 松山校区で「デンタツくん」というスマホのアプリを使っているのですが、その中で「災害時安否情報確認」というページがあります。ここに登録者が無事かどうかを登録ができるようになっています。ティーズには加入者がたくさんいるので、加入者向けにこういったツールを使って災害の情報や安否確認などを知らせる事ができればケーブルテレビとしての新たな役割として良いと思います。実際に災害が起これば消防署にはかなりの電話が入ります。キャパシティを超えてしまうと思うのでそんな時にケーブルテレビの力が必要になると思います。
- ティーズ > 現在はLINEがあるので、LINEでお知らせができるかもしれません。
- 委員 > ケーブルテレビは災害時の一番早い地域の情報伝達手段として位置づけられているので、地域の災害予防などのツールとして役立てていただきたいと思います。
- 委員 > 松山校区でペットの避難訓練を行いました。思った以上に参加者がいてびっくりしました。ただし、まだ受け入れ側の準備ができていない状況のようです。
- 委員 > 実際に放送されて反響はいかがでしたか？
- ティーズ > テレビ放送の反響は確認できていないのですが、YouTubeで配信してみた結果は、あまり視聴回数はないと思います。ただしYouTubeでの配信の告知はしていません。
- 委員 > とても良い内容だと思い観ていました。新城市も今年の7月にノロノロ台風で1週間近く災害対策本部を開設していました。本日こちらへ来る前に防災課に避難者のことを確認しましたが、この時はペット同伴での避難はなかったそうです。これはそんなに大きな災害にならないという予想でペットは連れてこなかったのかもしれませんが、ペットの受け入れ体制は整っていました。来月ペットを連れての避難訓練を実施する予定です。このような番組があるのは知らなかったのでも共有していきたいです。
- 委員 > ペットを飼っている人はこの番組を観るといろいろ学べると思います。学校が避難所になった場合、必ず配置図が作られます。その時に体育館は仕切りを設けて場所を確保しますが、教室もいろいろな状況に応じて分けられるようになってきていて、ペットの部屋を作ったことがあります。しかし、イメージとしてはペット同伴の部屋を思い浮かべるとは思いますが、実際はペットだけを避難させる部屋なのです。なので、この番組を観て、自分の校区を確認するきっかけになったら良いと思いました。あと豊橋市は外国人が多いので、多言語に対応した番組はあるのか、また今後作られていくのですか？
- ティーズ > まだ多言語化には対応していませんが、今後は対応していきたいです。
- 委員 > 災害時には高齢者などの避難という視点が強く、ペット同伴の避難は想定してなくて、今日はとてもいい気づきになりました。あと目の不自由な方や外国籍の方にはコミュニケーションボードがあるので、合わせて紹介してもらおうと、自分はどうしたらよいかを考えてもらうきっかけになるのではと思いました。
- 委員 > まだ誰も想定していないものを周知するのにテレビはとても良いと思いました。紙媒体などで防災備品を紹介されていても、実際にリュックに入れて背負ってみるととても重いという事が映像を通してわかりました。また、防災備品も優先順位を付けて最小限にするとか、ペット同伴で避難所に行くときにクレードルの種類や大きさなどを検討できて非常に良いと思いました。
- 委員 > 災害対策は、意識はしていてもなかなか準備ができていない。今回のような防災番組はテーマを変えて定期的に放送をしていくと、防災意識が高まっていくと思います。田原市でイベントを開催したときに、ペットに関する企画も開催したら一番人が集まったので、ペットに関する事は皆さん非常に興味があるのだと感じたことがあります。ペットに視点を置いて防災意識を高める番組はとても良かったと思います。
- ティーズ > 頂いた意見を参考に、今後の番組制作に取り組んでいく。